

## Lesson 4 A Dog in a Barbershop

(pp. 18-19)

### ① 「以前は～だった」「～したものだ」

used to / would

(a) used to 「以前は～だった」: 過去の状態・規則的行為を客観的に表す.

以前あそこの角に散髪屋さんがあった.

→ There ..... a barbershop at that corner.

◆ used to は現在との対比を示し、「以前はそうだったが、現在はそうではない」という含みを表します.

(b) would 「～したものだ」: 過去の習慣を主観的に表す.

私は兄とよくそこへ行ったものだ.

→ I ..... there with my brother.

◆ would は過去のことを思い起こして「～したものだ」と述べる表現で, often や sometimes とともに用いる形もよく見られます.

### ② 「～だったにちがいない[～だったかもしれない]」など

助動詞+have+過去分詞

(a) <must have+過去分詞> : 「～だった[した]にちがいない」

そのイヌはとても怖がりだったにちがいない.

→ The dog ..... very shy.

(b) <may have+過去分詞> : 「～だった[した]かもしれない」

そのイヌは私たちに会えてうれしかっただけかもしれない.

→ The dog ..... happy to see us.

◆ <can't have+過去分詞> : 「～だった[した]はずがない」

Sue **can't have attended** the party. She has been sick since Friday.

(スーがそのパーティーに参加したはずはない. 金曜日からずっと病気なのだから.)

◆ 過去のことについての後悔・非難を表す<should have+過去分詞> :

「～しておくべきだったのに」

The exam was difficult. I **should have studied** harder.

(試験は難しかった. もっと一生懸命勉強しておくべきだった.)

◆ <should not[shouldn't] have+過去分詞> : 「～すべきでなかったのに」

You **shouldn't have eaten** too much. (食べ過ぎるべきではなかったのに.)